

## 平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の子ども達を元気にする演劇公演と鑑賞事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人上田演劇塾 (上田市常田 2-6-6 塚原ビル 2F ☎0268 - 26 - 7300 事務局長 岩下郁子)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,461,745円 (うち支援金: 1,096,000円)

### 事業内容

- 宮沢賢治原作「セロ弾きのゴーシュ」を脚本化し、主役の中学生がチェロの生演奏付で演じた。更に動物役の子ども達は動物のメイクをして幻想的な舞台を創った。  
この作品は地域の親子の関心を呼び、リピータが増えるなど評判も良く新しい公演の形を示すことが出来た。
- 丸子文化会館以外は、照明や舞台設備のない公民館での公演では舞台設営に工夫をした結果、どの会場もほぼ満席となり3才から80代までの観客が共に楽しめた。
- ワークショップは2回、計54名参加したが、ゲスト出演は公民館・映劇の舞台奥行きが狭く物理的に舞台に立てなかった。そこで公演当日前座をして観客の参加を呼び掛け劇中歌「かつこう」を観客全員で歌うことに換えた。



【公演の千秋楽記念写真】

※1 自己評価 (事業実施率) **【A】**

#### 【目標・ねらい】

- 地域の子ども達に生の舞台鑑賞と公演体験の機会を提供する
- 演劇による異年齢の交流を図り子ども・家族・地域を元気にする
- 演劇を通して地域の文化交流を高め、同時に子ども達の成長を助ける

※2 自己評価 (事業効果) **【A】**

### 事業効果

- 今年度は地域の教育関係者や文化団をはじめ2商店街・4小学校・12保育園・6幼稚園より公演の協力をいただき、チラシ4千部、ポスター100枚の印刷を行い、全て配布した。  
演劇塾への関心と地域づくり支援金事業の周知になった。  
観客総数632名 (大人342名・子ども290名) 公演後のアンケートは188通 (回収率30%)。熱い感想文が戻ってきた。
- 生の舞台鑑賞への関心の掘り起こしが出来た。演劇塾の知名度が高まり、ワークショップや公演のゲスト参加は事前に日程の相談があれば園をあげて参加したいと言う園長と意見の一致を見た。

### 今後の取り組み

- 県の事業を2年間継続させて頂いたことにより、市内各地で合わせて12回の演劇公演を実現することができた。身近な所で小さな子どもを連れた親子が観劇できる機会を提供できた喜びは大きい。この経験が無駄にすることなく3年目に取り組みたい。
- 公演内容について検討し子ども達の期待に応じて面白く有意義な舞台を創りたい。
- 現在公教育の中に舞台鑑賞の機会はとても少ないが、当団体17年間の実績を基礎に幅広い市民のみなさんと力を合わせて地方の文化・芸術の発展を目指してゆく。